

図書館だより

NO. 200 2014年12月号
(2014年12月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

年末年始の休館のお知らせ

12月29日(月)~1月4日(日)
の期間を休館いたします。

※大野・さいき図書館は月曜日が休館日のため、1月5日(月)も休館になります。

年内は12月28日(日)まで、年明けは1月5日(月)から開館いたします。

(※大野・さいき図書館は1月6日(火)からの開館になります)

この休館に伴い、返却日が1月5日(月)に集中し、業務に支障をきたす恐れがあるため、12月15日(月)より資料の貸出期間を延ばしています。

今月の展示



《中央展示》

『中学生が読んでいる本』

中学生が今、どんな本を読んでいるかご存知ですか？ 廿日市・七尾・野坂中学校から、中学生がおすすめの本を紹介するブックカードを借り受けて展示しています。併せて紹介されている本も集めていますので、ぜひこの機会に手に取ってみてください。



《企画展示》

『年末年始のおもてなし料理』

クリスマス・年越し・新年を迎えるにあたって、パーティやおそば、おせち料理などの本を集めました。慌ただしい12月ですが、「食」を通じて行事を楽しんでみませんか？

展示期間：11月28日(金)~12月28日(日)



子ども司書 おすすめの本 POPを展示 しています



子ども司書とは

読書の楽しさ・大切さを
学校や地域で広める、
読書活動のリーダーとなる
子どもたちです。



廿日市市教育委員会主催で、市内小学生6年生を対象に「子ども司書」養成講座が毎年行われています。

秋の活動の一つとして、11月16日(日)、はつかいち市民図書館で子ども司書たちが自分で作ったPOP(おすすめの本を紹介するカード)をボードに飾りつけました。

このボードはヤングコーナーで展示しています。ぜひご覧ください。

*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『全方位読書案内』 齋藤孝/著 ウェッジ 019.9/サ
- 『神さまのおしゃべり』 さとうみつろう/著 ワニブックス 159/サ
- 『仕事。』 川村元気/著 山田洋次/[ほか述] 集英社 281.0/カ
- 『こども手帳術』 星野けいこ/著 浅倉ユキ/監修 パルコエンタテインメント事業部 379.9/ホ
- 『高野豆腐ダイエット』 土田隆/監修 宝島社 498.5/コ
- 『材料ならべてこんがり焼くだけレシピ』 堤人美/著 主婦の友社 596/ツ
- 『買ったがる脳』 デビッド・ルイス/著 日本実業出版社 675/ル
- 『殉愛』 百田尚樹/著 幻冬舎 767.8/ヤ
- 『「赤毛のアン」で英語づけ』 茂木健一郎/著 夜間飛行 837.5/ヱ
- 『親鸞 完結篇』 上・下 五木寛之/著 講談社 F/I
- 『キャロリング』 有川浩/著 幻冬舎 F/ア
- 『ヤモリ、カエル、シジミチョウ』 江國香織/著 朝日新聞出版 F/エ





新刊

こどものほん



『トイレをつくる未来をつくる』

会田法行/写真・文 ポプラ社 498/7

ここは 2002 年に独立した東ティモールの山村。村人たちが、大人の体が入るほどの大きな穴を掘り、穴を囲む小屋を建てています。何かと思えばそれは「トイレ」でした。屋外でうんちをしていた頃は不衛生で、子どもが病気にかかり、亡くなることもありました。そんな悲しい出来事に多くの親が、子どもたちが健康になり、毎日学校で勉強して国の未来を築いて欲しいという願いをこめてトイレを作っているのです。トイレひとつで、子どもたちの輝く笑顔が生まれます！

『4 ひきのりっぱなこぐま』

アーノルド・ローベル/さく こみやゆう/やく 好学社 E/0

4ひきのこぐまが、おじいさんによく読んでもらう本には「りっぱなくま」になる方法が書いてあります。こぐまたちは、書いてあるとおりに、木に登ったり、昼寝をしたりしますが、ちっともうまくいきません。そこで、おじいさんが手本を見せはじめると…。茶色を基調とした柔らかな絵とユーモラスな文の絵本。



その他の新刊

『本について授業をはじめます』 永江朗/著 少年写真新聞社 020/ナ

『魔術師ミショーシャ -北米インディアンの話-』 ヘンリー・ロウ・スクールクラフト/採話 ウィリアム・トロウブリッジ・ラーネッド/著 高野由里子/訳 長沢竜太/絵 風濤社 995/マ (インディアンの不思議な冒険3作！)

～子どもたちに本を手渡し続けたい～

ブックトークボランティア派遣事業

ブックトークとはテーマに沿って一定の時間内に数冊の本を複数の聞き手に紹介する読書案内の1つです。



はつかいち市民図書館には、ブックトークの勉強会グループ「**ブックトークの会ピッピ**」(通称:ピッピ)があります。ピッピは、平成 21 年度の「子どもと本の講座」をきっかけに 22 年度に立ち上がったグループです。23 年度からは「ブックトークボランティア派遣事業」で市内の小学校でブックトークをし、今年度で 4 年目になりました。メンバーは現在 11 人です。一緒に勉強しながら、子どもたちに本を手渡ししていく仲間を募集しています。

== **ブックトークの会ピッピの勉強会** ==

- 勉強会日時：1 か月半～2 か月に 1 度、主に土曜日の午後 1 時 30 分～。
- 場所：はつかいち市民図書館
- 内容：ブックトークのテーマの設定や選書、紹介の仕方等について意見交換。

ピッピのブックトークを聞いてくださった担任の先生が「自分でもブックトークをしたいので、勉強してみたい」と言われたり、「将来ブックトークをやってみたい」と感想を寄せてくれた子どもたちもいます。

ブックトークを見てみたい、興味があるという方！ まずは、見学してみませんか？ ぜひ、はつかいち市民図書館までお問い合わせください。

4 年生に紹介した本

テーマ「**ためしてみよう！ こんなやり方**」



『小さなバイキングピッケ』ルーネル・ヨンソン/作
エーヴェット・カールソン/絵 石渡利康/訳 評論社
(シリーズあり)

『はがぬけたらどうするの?』セルビー・ピーラー/文
フライアン・カラス/絵 こだまともこ/訳 石川烈/監修
フレーベル館

『エンザロ村のかまど』さくまゆみこ/文 沢田としき/絵 福音館書店

『タマソソ川』山崎充哲/著 旬報社

『りこうなおきさき』モーゼス・ガスター/文 光吉夏弥/訳
太田大八/絵 岩波書店

『ヤマネはねぼすけ?』湊秋作/文・写真 中川雄三/写真
福音館書店

『図書館に児童室ができた日』ジャン・ピンボロー/文
デビー・アトウェル/絵 張替恵子/訳 徳間書店

紹介者：角田寛子さん

休館中(12月29日~1月4日)の資料の返却について

図書館が閉館している際の資料の返却は、返却ポストへお願いしていますが、一度にたくさんの返却があると資料を傷めてしまう可能性があります。

年内が返却期限の資料は、できるだけ12月28日(日)までにご返却ください。

予約が入っていないければ一度だけ延長することができます。

貸出期間の延長は、ご来館いただかなくても、電話でも受け付けています。

12月28日(日)18時まで開館しておりますので、**(0829)20-0333**までご連絡ください。その際は利用カードの番号をお伝えください。

休館中にご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



返却ポストは、

①図書館入口左と、

(※12月29日~1月3日の期間は、施設全体が閉館のため利用できません)

②市役所西側駐輪場付近の図書館通用口横

の2か所にあります。

ただし視聴覚資料(カセット・CD・ビデオ・DVD)は、返却ポストには入れないでください。開館している時に返却カウンターまでお願いします。

12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 ◎	6
7	8	9	10	11	12	13 ★
14	15	16	17	18	19 ◎	20
21	22	23	24	25	26	27 ★
28	29 休館	30 休館	31 休館			



◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時~

2回目 11時30分~

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年

【時間】11時~

★12月13日(土)は、
パパが読むおはなし会です



※年明けは1月5日(月)より開館いたします。

※場所はいずれも図書館会議室です。